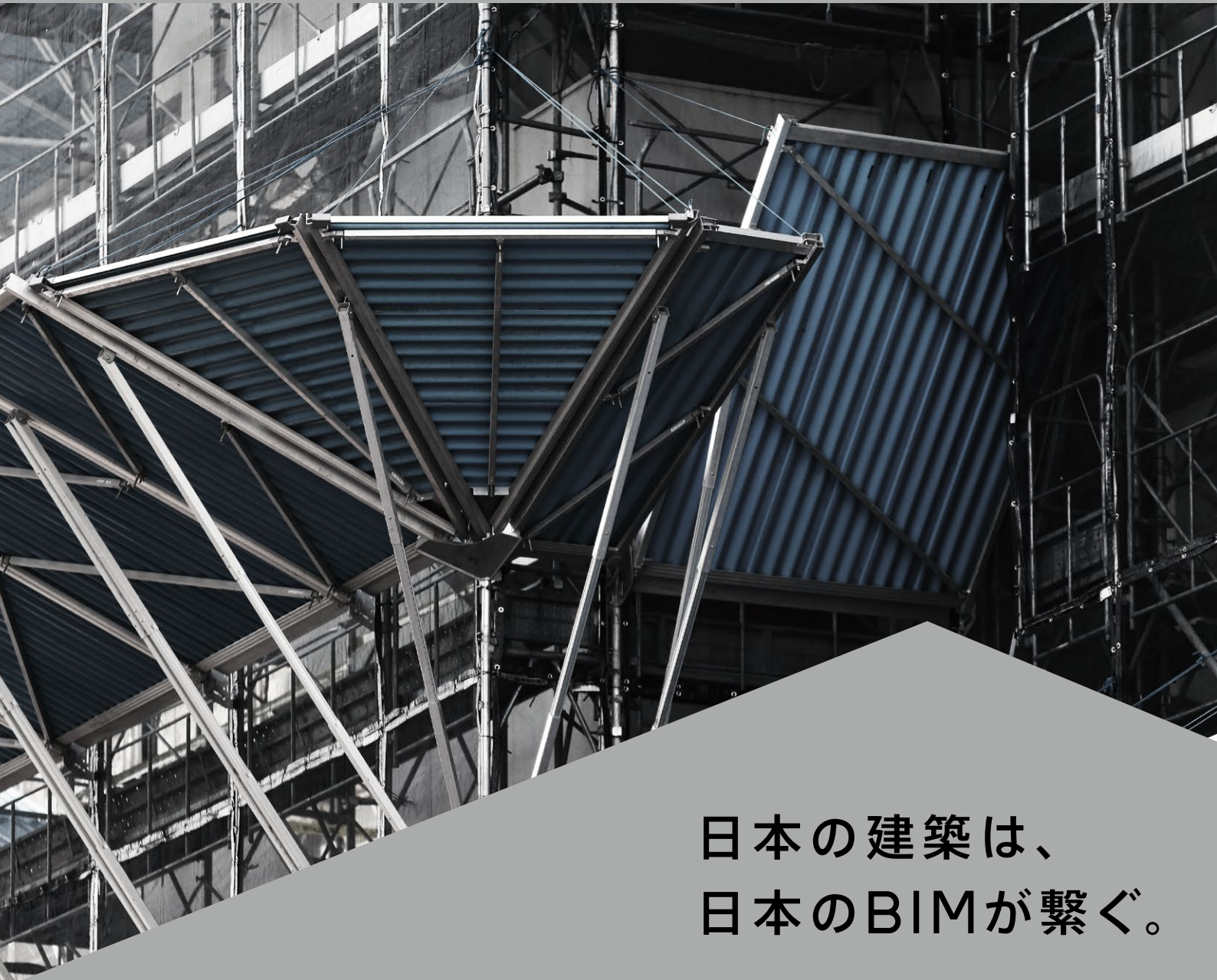


GLOBE

Japanese Building Information Modeling CAD System

Construction



日本の建築は、
日本のBIMが繋ぐ。

BIM建築設計・施工支援システム

GLOBE

Japanese Building Information Modeling CAD System

日本の建築は、日本

企画・設計・施工からFM・維持管理までの一
GLOBEシリーズでのシームレスなデータ連携により、BIMのトータル
BIMの課題である「データの断絶」を克服し、各工程の短縮化と大幅



GLOBEの特長

●建築基準法対応

逆日影斜線計算・逆天空アシスト・各種斜線計算・天空率・各種日影計算・平均地盤算定・採光・換気・排煙計算などにより、企画設計から確認申請図作成まで対応しています。

●高品質な自動作図機能

実施設計図面、法規関連図面をモデルデータから自動作成するため、整合性のとれた日本の規格にあった高品質な図面が作成できます。

●多彩なデータ連携

国際規格の「IFC」や日本の構造規格の「STB」などの連携フォーマットにより、意匠・構造・設備・FMの各種データと高精度な連携が可能になります。

のBIMが繋ぐ。

連のプロセスをBIMデータでつなげるプラットフォームを実現!

マネジメントを実現。設計BIM・施工BIM・BIM-FMのモデルデータを繋ぎ、
な業務効率化を支援します。



BIMデータの確認・共有が手軽にできるビューワー
GLOBE WebViewer **NEW**

最適な“デザイン”をモデル化する

設計BIM

GLOBE Architect

3次元による合意形成と整合性の確保で、設計品質と生産性の向上を実現。企画・基本・実施設計から維持管理まで、一連の建築プロセスをBIMでつなぐ国産設計BIMソフトです。

●基本計画・基本設計 (GLOBE Architect基本)

- ・コンセプトデザイン
- ・断面図
- ・概算数量
- ・平面図
- ・天井伏図
- ・高品質レンダリングCG
- ・立面図
- ・面積求積図・表
- ・PDF取込
- ・配置図
- 〈PDF取込アシスト〉*

●法規チェック*

- ・日影計算・図
- ・採光・換気・排煙計算
- ・天空率計算・図
- ・地盤算定図・表
- ・建蔽率・容積率
- ・斜線図・表

●実施設計*

- ・平面詳細図
- ・建具表
- ・各種構造図
- ・矩計図
- ・建具キープラン
- 〈躯体図出力〉*
- ・展開図
- ・内部外部仕上表

●プレゼンテーション

- ・高品質CG・レタッチ
- 〈GLOBE V-style〉*
- 〈“P-style” for GLOBE〉*
- ・ウォークスルー
- 〈ARCHITREND リアルウォーカー〉*

●FM連携*

- ・維持管理

WEBはこちら



※詳細はGLOBE Architectカタログを参照してください。

安全・効率をモデルで徹底追及する

施工BIM

GLOBE Construction

仮設・土工・躯体の施工フェーズを、3Dモデルで可視化し、高品質の施工図作成と効率的な部材数量の拾い出しで生産性を向上。建築現場のデジタルツインを実現し、安全で効率的な施工計画をサポートする施工BIMソフトです。

●躯体計画 (GLOBE Construction基本)

- ・杭伏図
- ・見上図
- ・地下躯体工事計画
- ・底盤伏図
- ・見下図
- ・地上躯体工事計画
- ・基礎伏図
- ・断面図
- (鉄筋・コンクリート)
- ・全体投影基礎伏図
- ・断面リスト図
- ・鉄骨建方工事計画
- ・全体投影屋上伏図

●型枠・支保工計画

- ・配置図
- ・断面図

●仮設計画*

- ・平面図
- ・立面図

●土工計画*

- ・統合図
- ・断面図
- ・構台伏図
- ・構台立面図

●工程計画

- ・土工事
- ・仮設工事
- ・躯体工事
- ・型枠・支保工工事

●重機配置計画

WEBはこちら



【共通プログラム】

●ビューワー・シミュレーション

- ・ビューワー (ブラウザ版)
- GLOBE WebViewer **NEW**
- ・ビューワー (ダウンロード版)
- GLOBE Model Viewer
- ・VR
- 〈GLOBE VR〉*
- ・建材シミュレーションサイト
- 3Dカタログ.com*1

●点群アシスト*

- ・点群加工・編集・合成
- ・距離計測
- ・躯体出来形チェック
- ・高さチェック

〈 〉はプログラム名です。*はオプションプログラムです。詳しくは価格表をご参照ください。*1は専用の個別契約が必要となります。※画像はイメージです。

●スムーズなモデリング

日本の規格に沿った、仕上げやファシなど、ラフなモデルから詳細まで、設計の進捗に応じて直感的な操作が行えます。

●3Dモデルでの施工

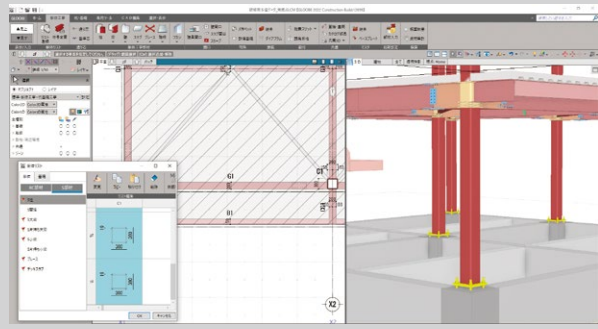
基本となる躯体・仮設・土工と施工フローに即したインプット/アウトプットが可能。施工現場業務の効率化と建設コストを把握し、3D・4D・5D計画で現場の無駄の削減が可能です。

●次世代施工を支援

最小マウスクリックとリアルな3D表現で安全で効率的な計画が可能。施工ステップと作業項目の可視化とICT建機への連携等、幅広い活用で施工を支援します。

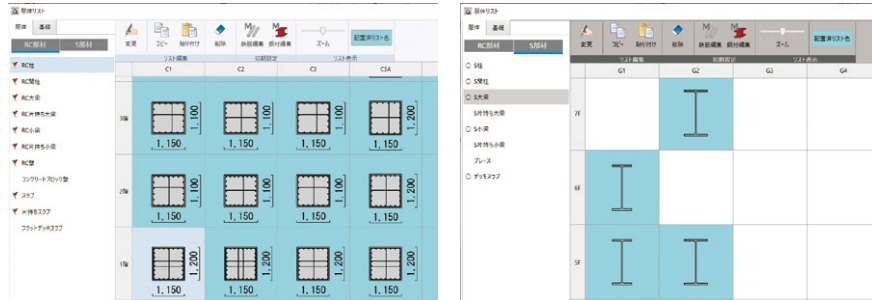
躯体計画

現場で便利な2D施工図と3D施工モデルを徹底追及しました。躯体リストから部材配置するだけで建築物の躯体や基礎のBIMモデルを構築できます。符号・寸法線のリアルタイム表示で直感的な操作フロー。コンクリート/鉄筋/鉄骨/捨てコン・碎石の詳細な数量算出が可能です。



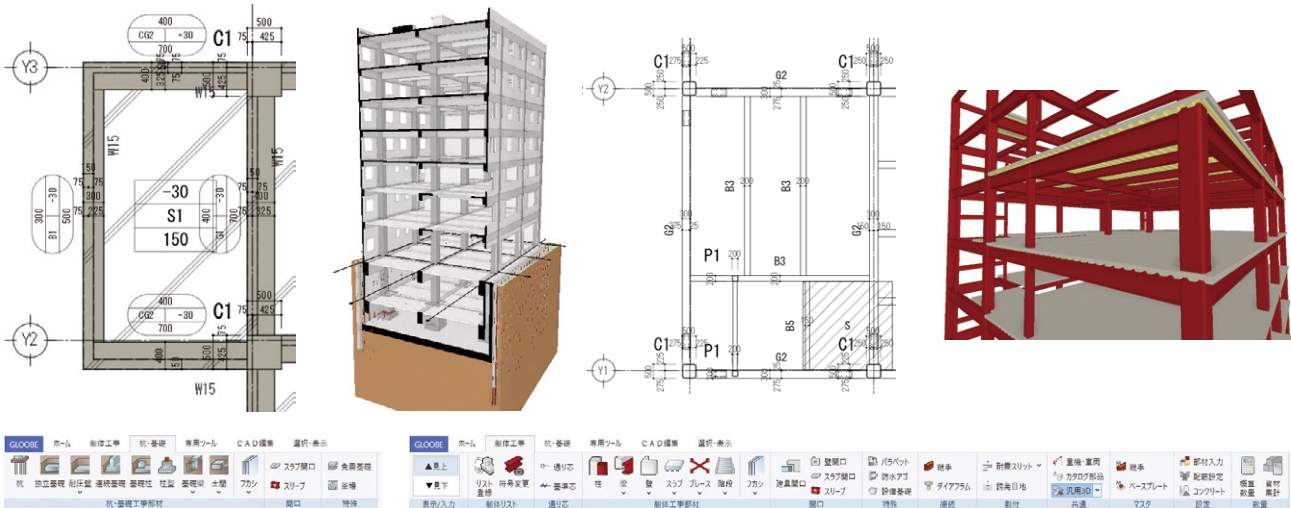
■リスト登録

部材の情報(符号、サイズ、配筋など)をデータベースとしてリストに登録。リスト情報をもとに、記号および寸法線がリアルタイムで表示されます。構造データ連携用ファイルST-BridgeやGLOOBE Architectデータ読み込み時は、リスト連携可能です。



■躯体計画

あらかじめリストに登録した部材(柱・梁など)を配置するだけで、建築物の躯体や基礎のBIMモデルを構築。見上げ⇄見下げや平面⇄断面のビュー切り替え、符号・寸法線のリアルタイム表示で直感的な操作フローを実現します。躯体工事を考慮しながら仮設計画を行うなど、総合的で合理的な施工シミュレーションが可能です。



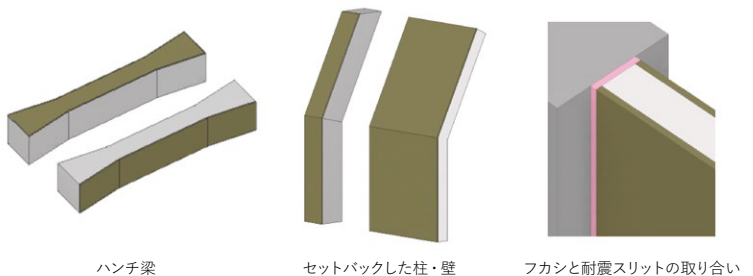
・勾配の一括設定 NEW

「勾配一括」コマンドを新設し、柱やスラブ、壁の勾配を一括で変更できるようになりました。勾配の変更と同時に、付随する部材の高さも合わせて変更されます。



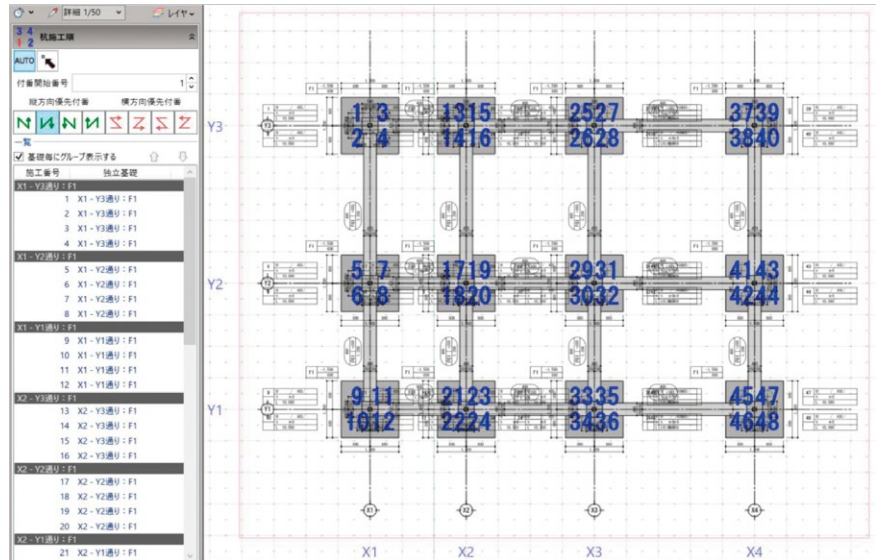
・フカシの入力対象 NEW

フカシの入力対象を拡張し、フカシ表現の精度を向上しました。



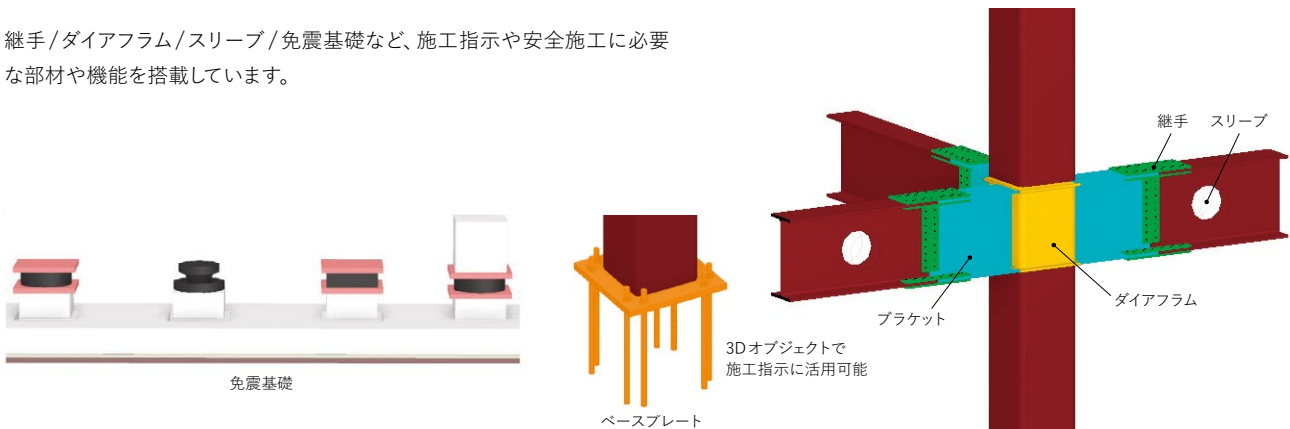
・杭の施工番号 **NEW**

杭に施工番号を追加し、自動及び個別で付番できるように対応しました。杭伏図へ反映します。



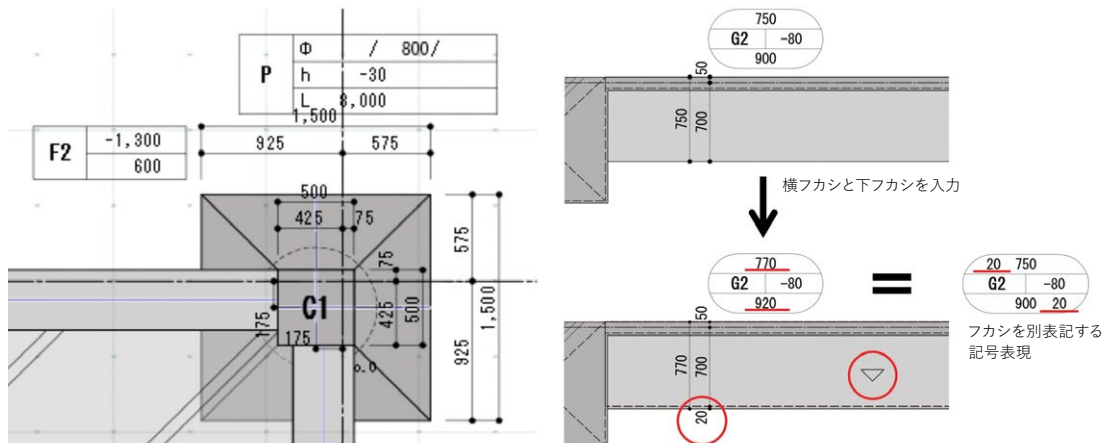
■各種部材

継手/ダイアフラム/スリーブ/免震基礎など、施工指示や安全施工に必要な部材や機能を搭載しています。



■記号・符号・寸法線

施工図には、日本特有のさまざまな作図表現の文化があります。各部材の記号はカスタマイズが可能で、施工会社の仕様に合わせた表現が可能です。寸法線は、部材のサイズ寸法だけでなく、通り芯・基準芯からの振り分け寸法に対応します。記号・寸法線で表記されるレベルや寸法は、BIMモデルの状態を反映していますので、常時整合しています。例えば、フカシを入力すると、寸法線・記号の数値が変わります。



■概算数量・資材集計

コンクリート／鉄筋／鉄骨／捨てコン・砕石について、数量集計が可能です。

数量集計根拠は「見える化」され、対象となる部材が「どこで」「どのように」配置され集計されているか、平面・3Dビューで確認できます。

階	部号	通り	形状	配筋種別	位置	種	概算計算式	長さ(m)	本数	合計長さ(m)	圧縮率(%)	質量(kg)
G1	A通り 3間	一般	直筋	上段・控通し筋	D38	直	$5.150 \times 0.575 \times$	6.30	5	31.50	5.0	0
							$5.150 \times 0.575 \times$	6.30	5	31.50	5.0	0
							$5.150 \times 0.575 \times$	6.30	4	25.20	4.0	0
							$5.150 \times 0.575 \times$	6.30	4	25.20	4.0	0
							$5.150 \times 0.575 \times$	6.30	4	25.20	4.0	0
							$5.150 \times 0.575 \times$	6.30	4	25.20	4.0	0
G1	A通り 4間	一般	直筋	上段・控通し筋	D38	直	$5.150 \times 0.575 \times$	6.30	5	31.50	5.0	0
							$5.150 \times 0.575 \times$	6.30	5	31.50	5.0	0
							$5.150 \times 0.575 \times$	6.30	4	25.20	4.0	0
							$5.150 \times 0.575 \times$	6.30	4	25.20	4.0	0
							$5.150 \times 0.575 \times$	6.30	4	25.20	4.0	0
							$5.150 \times 0.575 \times$	6.30	4	25.20	4.0	0

部材種別毎、階毎に集計を詳細表示

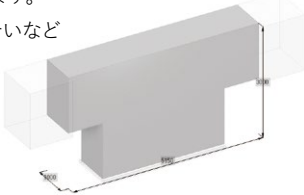
集計部材の寸法表示

選択部材を平面・3Dビューでハイライト表示

・コンクリート集計

階毎のコンクリート配合マスタを実装し、各部材に効率的に強度・スランプを割り当てできます。

部材の包絡強化により、取り合いなどを考慮した正確な数量集計が行えます。

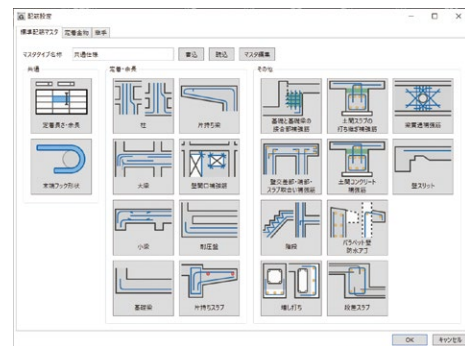


階高	種類	強度	スランプ	任意計算式	セメント比
6階	普通	24	18	25/N	
14階	普通	24	18	25/N	
13階	普通	24	18	25/N	
12階	普通	24	18	25/N	
11階	普通	24	18	25/N	
10階	普通	24	18	25/N	
9階	普通	24	18	25/N	
8階	普通	24	18	25/N	
7階	普通	24	18	25/N	
6階	普通	24	18	25/N	
5階	普通	24	18	25/N	
4階	普通	24	18	25/N	
3階	普通	24	18	25/N	
2階	普通	24	18	25/N	
1階	普通	24	18	25/N	
地下層	普通	27	15	25/N	

・鉄筋集計

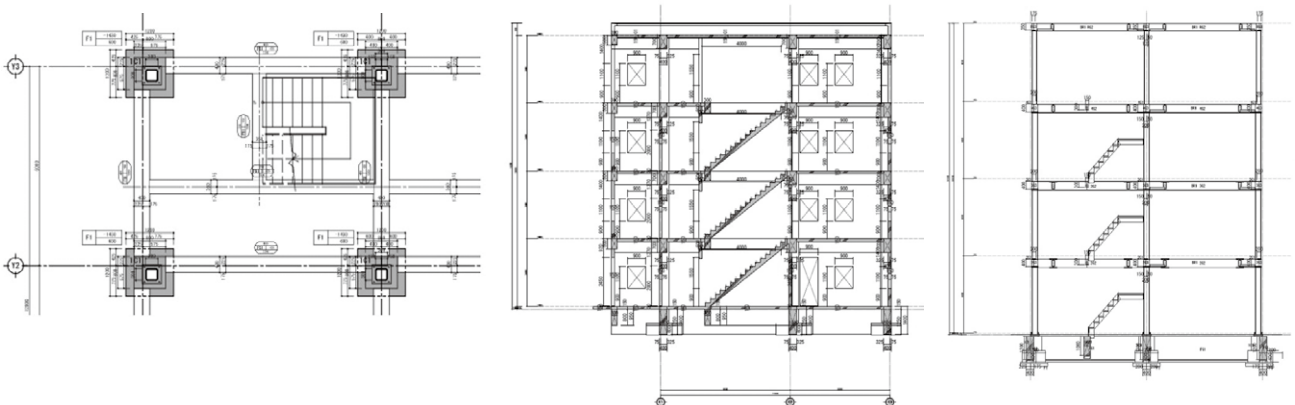
標準配筋マスタ、定着金物、継手設定より、建築数量積算基準に準拠した設定や自社独自の設定で、鉄筋数量を集計します。定着長・余長・重ね継手長が考慮され、集計結果が計算式とともに確認できます。

圧接箇所数や定着金物の集計も可能です。



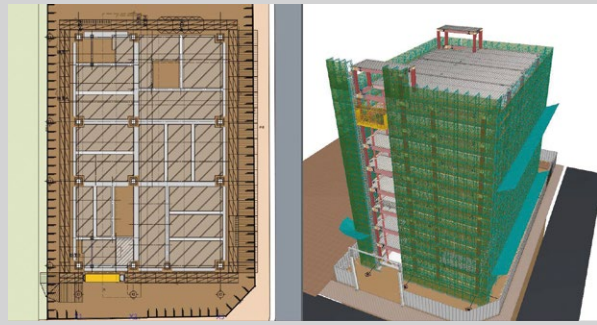
■図面出力

作成したモデルをもとに杭・基礎伏図、見上図・見下図と断面図の自動作図が可能です。場面に応じた使い分けができます。モデルを作り直しても、図面再作成によりモデルとの整合を確保します。部材の記号や寸法の重なり解消のため、作図位置を調整し、図面編集の作業時間が削減できます。



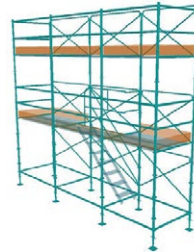
仮設計画

直感的な操作と最小マウスクリックで足場の入力
と編集が可能です。リアルな3D表現で、安全・最
適な足場計画を行うことができます。



■仮配置計画・シミュレーション

インチ系/メートル系のくさび緊結式/枠組足場を配置することが
できます。1点方向、連続線で、基本となるユニットと高さ段数を指
定して一括入力。3Dワンタッチで各部材を直観的に、詳細に編集
できます。



『くさび緊結式足場(次世代足場)』



『枠組足場』

国内8社のメーカーに対応した次世代足場マスタのダウンロード
で、簡単に正確な仮設モデルが作成できます。

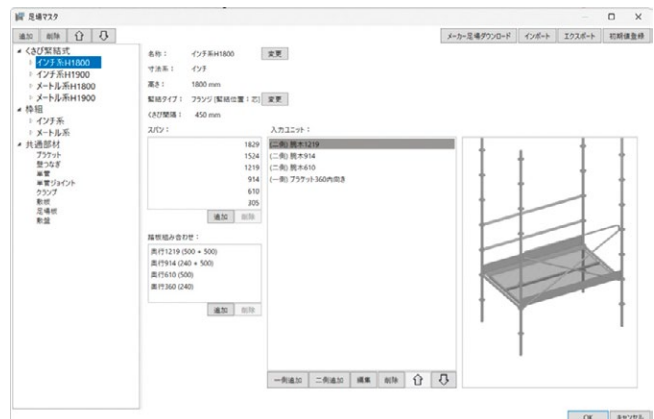
	アルインコ株式会社		
アサヒ産業株式会社	アルインコ株式会社	信和株式会社	株式会社杉孝
株式会社ダイサン	株式会社タカミヤ	東阪株式会社	日建リース工業株式会社

NEW

足場マスタを拡張し、イメージの確認ビューに対応しました。
緊結タイプ「フランジ・ポケット」や支柱の接続タイプ「ほぞあり・
ほぞなし・連結ピン付」などを追加し、入力ユニットで一側・二側、
および部材の組み合わせが設定できます。



一側足場



・仮設昇降機

機種に応じたカゴ・レール・台座を組み合わせた仮設昇降機が配置できます。
荷受けステージや侵入落下防止柵など、3Dカタログ.comより多様な形状をご用意しています。

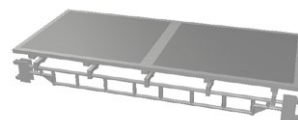
3Dカタログ.com



ロングスパン1本溝



工専用2本溝



仮設荷受けステージ



進入落下防止柵

※CAD連携には別途3Dカタログ.comの有料会員契約が必要です。

・仮囲い

仮囲いはシートタイプ・パネルタイプ・上部シートタイプに対応しており、控え単管パイプの割付も柔軟に設定できます。ゲート・仮設フェンスは3Dカタログより多様な形状を選択して入力することができます。



■各種部材入力

足場編集において、基本部材(支柱・布材・踏板・先行手摺など)の追加入力及び副部材(ブラケット・壁つなぎ・アサガオ・シート)の入力が可能です。

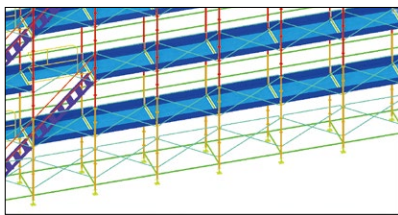
また、開口(梁枠)、階段(+階段手摺・階段開口部手摺)、張り出しブラケット(+支柱・腕木・先行手摺・幅木)なども1クリックで複合入力することができます。



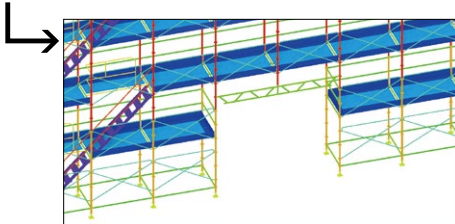
くさび式足場



枠組足場



開口(梁枠)入力

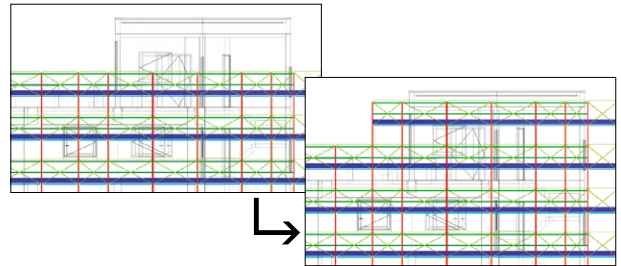


■編集機能

接合編集においてはコーナ部分の処理を、高さ合わせではペントハウスなどの足場の高さを簡単に調整することができます。

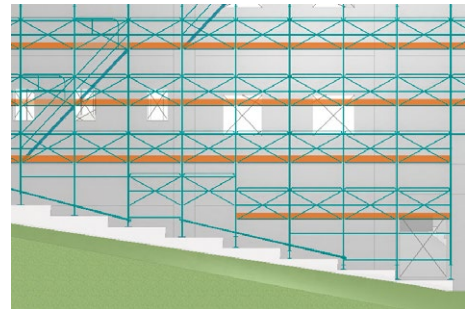
また、スパンの変更で部分的にスパンサイズを調整したり、高さ変更で部分的に層の増減を行ったり、列変更でステージなどの作成も簡単に行えます。

・高さ編集



・下端編集 NEW

傾斜地への入力に対応しました。



■概算数量集計

配置した仮設部材の数量を各部材毎に集計することができます。自動集計された数量はExcelに出力でき、積算・見積に2次利用が可能です。

概算数量 (仮設工事)				
更新				
仮囲い 仮設足場 仮設足場編集 重機・車両 カタログ部品 汎用オブジェクト				
くさび式足場-本体				
名称	延長(m)	単位面積(m ²)	個所数	
インチ系H1800	138.39	4925.65	18	
くさび式足場				
名称	品番	重量(kg)	個所数	総重量(kg)
支柱				
支柱 900		2.75	7	19.25
支柱 3600		11.07	1614	17866.98
支柱 1800		5.75	130	747.50
ジャッキベース				
ジャッキベース 400		4.00	192	768.00

■図面出力

平面図及び立面図の出力が可能で必要な寸法線が自動出力され、労働基準監督署への足場設置届や篤職への指示書として使用することができます。

カラー印刷も可能なのでよりわかりやすい図面の出力が可能です。

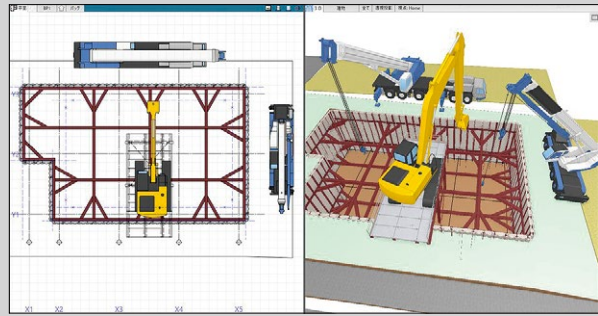


平面図

立面図

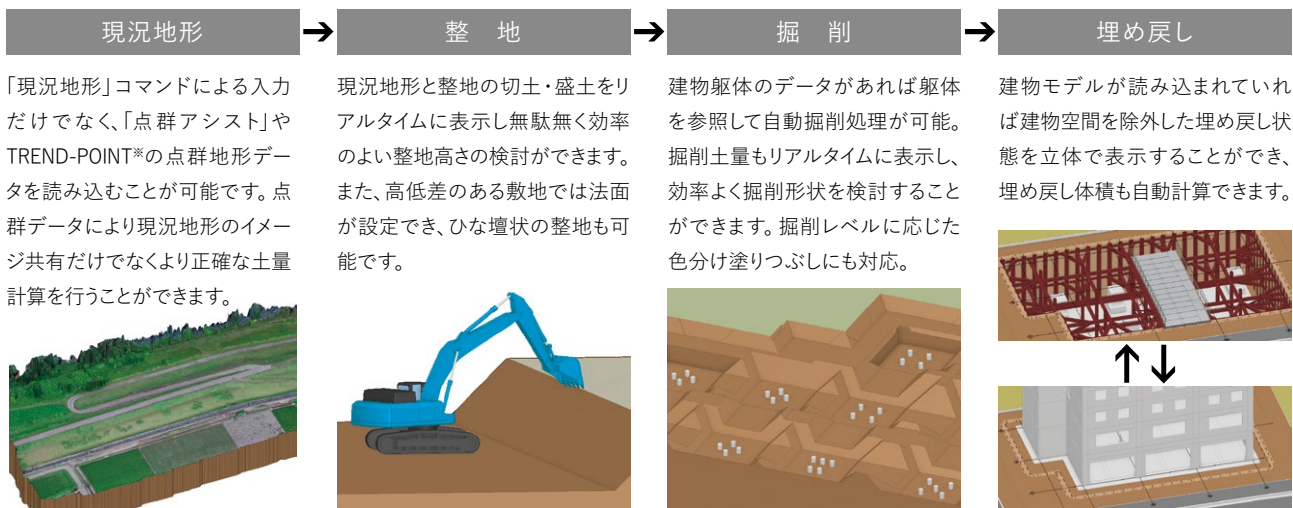
土工計画

現場や建物に応じて、より合理的で効率的な土工の施工計画を行うことができます。
計画結果は施工工程を工事関係者で共有したり、ICT建機に連動するなど幅広く活用できます。



■工程表示

土工の各工程の状態を関係者で共有できる様に工程表示切替ボタンを設けました。
これにより表示状態を素早く切り替え効率よく関係者との打ち合わせを行うことができます。



※福井コンピュータ社製の3D点群処理システム

■土工レベル

一次掘削・二次掘削のように、それぞれの掘削・支保工レベルを設計の躯体を参照しながら検討し、設定できます。設定されたレベルはデータ入力時に参照できるだけでなく、概算数量でレベル毎に数量集計することができます。



■リアルタイム土量計算

現況地形から整地時の切土・盛土体積、さらに掘削時の掘削体積がリアルタイムに表示され、土量を意識しながらより最適な整地レベル、掘削形状を検討することができます。

整地土量

切土体積	3075.43 m ³
盛土体積	99.98 m ³

掘削土量

掘削体積	40077.96 m ³
------	-------------------------

■ICT施工

掘削データをLandXML (CIM系オープンフォーマット) に出し、ICT建機へ連携させることが可能です。GLOBE Constructionは次世代施工を支援します。



GLOBE Construction (LandXML 出力)

日立建機 (ICT 油圧ショベル)

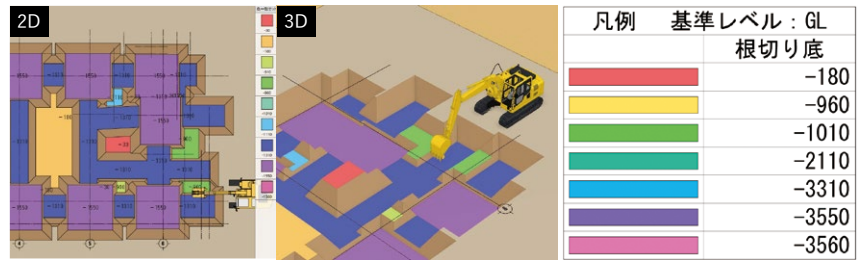
株式会社鴻池組では、建設現場におけるMC建機とBIMデータの連携技術強化による施工のさらなる高度化と生産性向上を実現しました。

2020年12月9日付け News Release (https://archi.fukuicompu.co.jp/sys_img/tp_of_detail/_DL_722.pdf)

株式会社鴻池組 新研究施設「大阪テクノセンター」の掘削においてLandXMLデータを活用し、日立建機と共同で建設現場のMC(マシンコントロール)を実証。

■『根伐図』の可視化

掘削レベルに応じたカラー表現に対応。根伐する位置・深さが直観的に識別でき、日付・作業を指定して施工ステップと作業項目を即座に確認できます。また図面出力で、掘削根切り底の色分け凡例表が作成可能です。



■山留壁

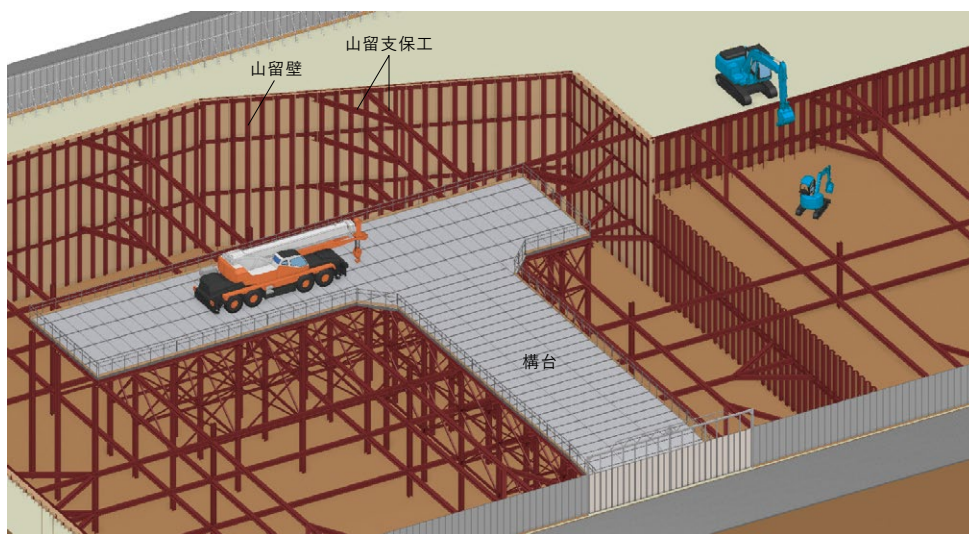
シートパイル、親杭横矢板、SMWの山留壁工法に対応し、コーナー部取り合いもワンクリックで処理することができます。

■構台

構台を構成する各部材を自動配置。自動配置した構台の構成部材を建物躯体や山留支保工との干渉を確認しながら構台の詳細設計を行うことができます。

■山留支保工

「山留支保工」コマンドで腹起しを、「山留支保工編集」で腹起し・切梁・火打・切梁支柱を、躯体データがあれば躯体との干渉も確認しながら素早く入力できます。



■概算数量集計

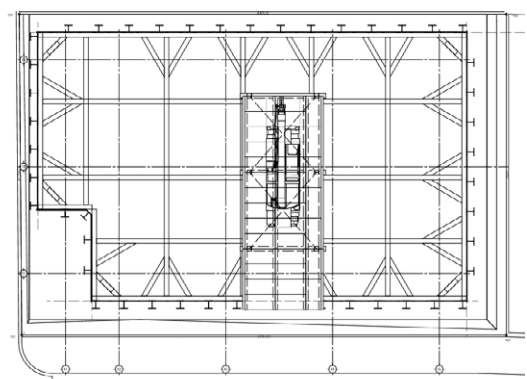
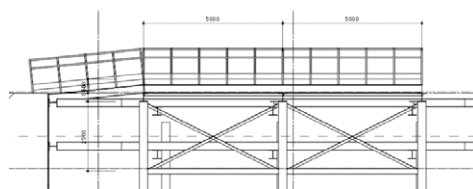
土工事に使われる山留壁や山留支保工・構台部材及び土量の自動集計ができます。

自動集計された数量はExcelに出力でき、積算・見積に2次利用可能で、土工事の見積や資材発注を素早く行うことができます。

部材名	単位	数量	単位	数量	単位	数量
山留壁	体積(m³)	6	0.01	91.25	体積(m³)	1.07
山留支保工	体積(m³)	6	0.01	91.25	体積(m³)	1.07
切梁	体積(m³)	8	0.01	157.68	体積(m³)	1.84
切梁支柱	体積(m³)	8	0.01	157.68	体積(m³)	1.84
火打	体積(m³)	10	0.01	14.80	体積(m³)	0.17
切梁	体積(m³)	10	0.01	14.80	体積(m³)	0.17
切梁火打	体積(m³)	27	0.01	71.71	体積(m³)	0.84
切梁支柱	体積(m³)	27	0.01	71.71	体積(m³)	0.84
切梁支柱	体積(m³)	8	0.01	80.00	体積(m³)	0.94

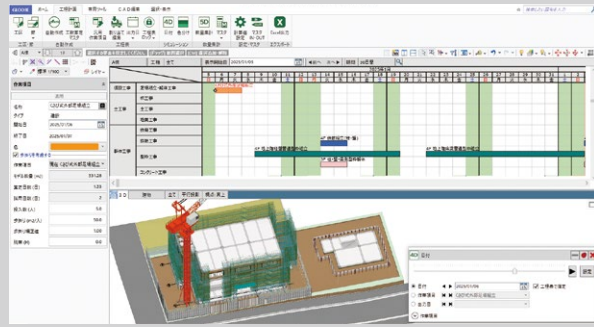
■図面出力

検討された土工モデルから・土工計画総合図・土工計画断面図・構台伏図・構台立面図を自動で作図することができます。作図した図面は労働安全衛生法第88条第4項に基づく計画の届出の添付書類に活用可能です。



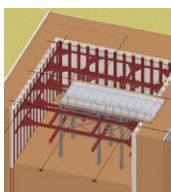

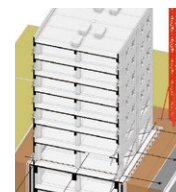
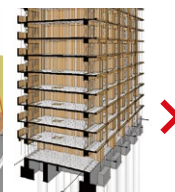
工程計画

施工・数量・工程が完全連動して、適正工期の算定と工程計画が自動でできます。仮設・土工・躯体工事を3D・4D・5Dデータでシミュレーションしながら工程を組むことができ、これまでの図面・電卓・経験則による「手待ち」「手戻り」「手直し」のムダを解消し、業務効率化を実現できます。



■根拠に基づいた工程計画を自動作成

日付と作業を指定して施工ステップと作業項目を即座に確認。3Dモデルと完全リンクした躯体数量と歩掛データから、適正な工程と部材数量を自動算出可能です。

×


工期算定用設定

歩掛り

休日・残業

投入数・台数

=

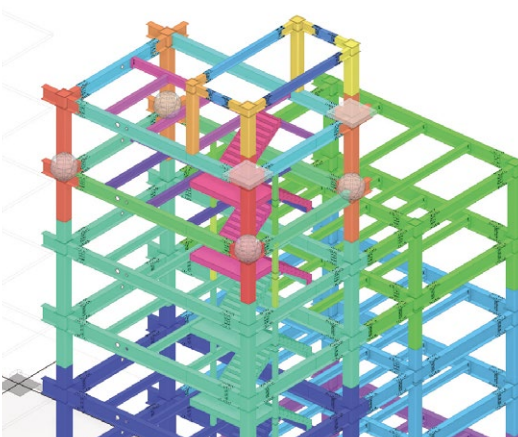
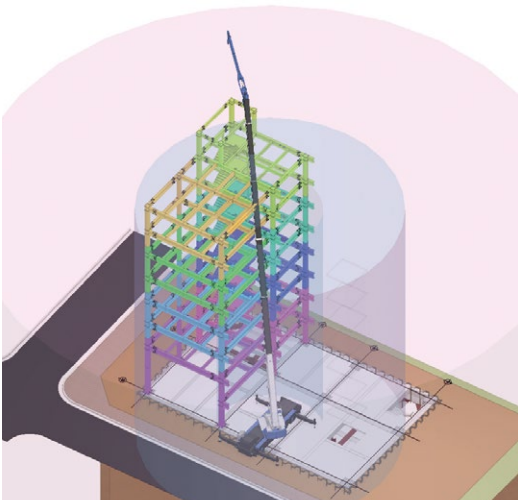


入力されたモデルデータから工程計画を自動作成

■工区・節・ピースの設定

鉄骨建方、外部足場、コンクリート打設等の工区分け、節、ピース入力割当てに対応し、各1日単位でのステップ計画や揚重計画ができます。

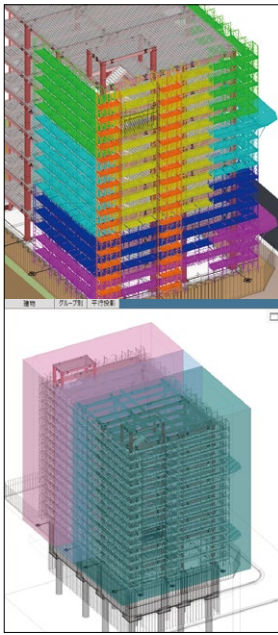
・鉄骨建方 工区・節・ピース



節色	節名	部材名	鋼材種別	重量 (t)	延長 (m)
	A工区-第1節	全部材	全鋼材	30.57	154.33
	A工区-第2節	全部材	全鋼材	23.21	124.02
	A工区-第3節	全部材	全鋼材	28.40	148.72
	A工区-第4節	全部材	全鋼材	26.04	153.53
	A工区-第5節	全部材	全鋼材	24.87	149.12
	A工区-第6節	全部材	全鋼材	23.82	153.83
	A工区-第7節	全部材	全鋼材	26.35	176.28
	A工区-第8節	全部材	全鋼材	20.99	151.59

色	番号	階	通り	鋼材種別	重量 (t)	延長 (m)
	1	7F - 8F	X1 - Y1通り	BCP235,SS400	2.66	7.05
	2	7F - 8F	X1 - Y2通り	BCP235,SS400	2.58	6.05
	3	7F - 8F	X2 - Y1通り	BCP235,SS400	2.78	7.05
	4	7F - 8F	X2 - Y2通り	BCP235,SS400	2.70	6.05
	5	PH1	X1 - □通り	BCP235,SS400	1.14	3.35
	6	PH1	X1 - Y1通り	BCP235,SS400	0.83	2.35
	7	PH1	X2 - □通り	BCP235,SS400	1.14	3.35
	8	PH1	X2 - Y1通り	BCP235,SS400	0.83	2.35

・外部足場 工区・節



外部足場部-集計

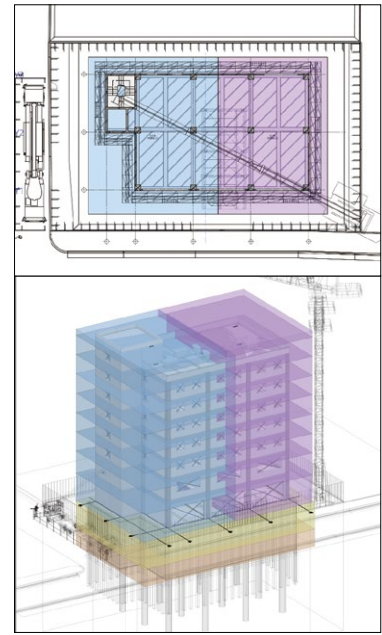
更新 エクスポート

架面種 部材内訳

部名 A工区-第1節 節色

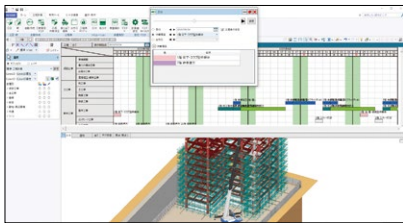
名称	品番	箇所数	総重量 (t)
ジャッキベース		76	0.11
鳥居型建枠 1219×1700		129	0.77
連結ピン 25		260	0.05
踏板 500×1219		66	0.36
踏板 500×1524		6	0.08
踏板 500×1829		81	0.34
交差筋交 1219×1219		73	0.00
交差筋交 1524×1219		8	0.00
交差筋交 1829×1219		112	0.11
幅木 1219		60	0.08
幅木 1524		6	0.02
幅木 1829		78	0.08
手摺 1219		73	0.05
手摺 1524		8	0.01
手摺 1829		112	0.06
梁枠 3658		2	0.06
先行手摺 1219		25	0.05
先行手摺 1524		2	0.02

・コンクリート打設 工区

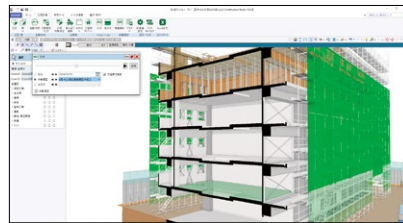


■施工シミュレーション

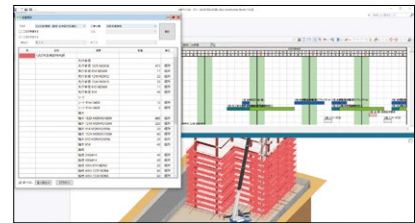
作業の日付と項目を指定して施工ステップを「4Dビュー」で分かりやすく確認できます。また、「出力日」を指定することで、シミュレーション結果を躯体図や各種3D成果物、数量集計に反映します。



作業項目：5月24日 7階鉄骨建方



作業項目：2月23日 6階柱壁普通型枠組立



作業項目：外部仮設足場詳細集計

■数量集計

全体集計や期間・工程・工区・節を考慮しながら必要数が集計できます。「5Dビュー」によって高精度な生産設計BIMを実現。3Dモデルの色分け表示で集計項目を見える化できます。



外部足場部-集計

更新 エクスポート

架面種 部材内訳

節色	部名	足場名称	見方面積	単位
工区-第1節		インチ系H1800	6.58	m2
工区-第1節		NDシステム1800 (白建リース工)	313.85	m2
工区-第2節		インチ系H1800	6.58	m2
工区-第2節		NDシステム1800 (白建リース工)	313.85	m2
工区-第3節		インチ系H1800	6.58	m2
工区-第3節		NDシステム1800 (白建リース工)	313.85	m2
工区-第4節		インチ系H1800	6.58	m2
工区-第4節		NDシステム1800 (白建リース工)	313.85	m2
工区-第5節		インチ系H1800	6.58	m2
工区-第5節		NDシステム1800 (白建リース工)	313.85	m2
工区-第6節		インチ系H1800	3.29	m2
工区-第6節		NDシステム1800 (白建リース工)	156.93	m2

外部足場部-集計

更新 エクスポート

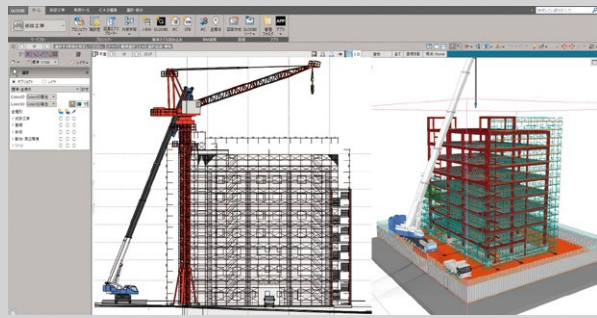
架面種 部材内訳

部名 A工区-第1節 節色

名称	品番	箇所数	総重量 (t)
先行手摺 610	NDX06	2	0.01
先行手摺 914		4	0.00
先行手摺 1219	NDX12	4	0.01
先行手摺 1524	NDX15	6	0.01
先行手摺 1829	NDX18	86	0.06
幅木 610	MDNFG06SW	2	0.00
幅木 914		4	0.00
幅木 1219	MDNFG125W	22	0.01
幅木 1524	MDNFG155W	6	0.01
幅木 1829	MDNFG185W	86	0.05
踏板 240×914		2	0.00
踏板 490×610	NDN2	2	0.01
踏板 490×914	NDN3	2	0.02

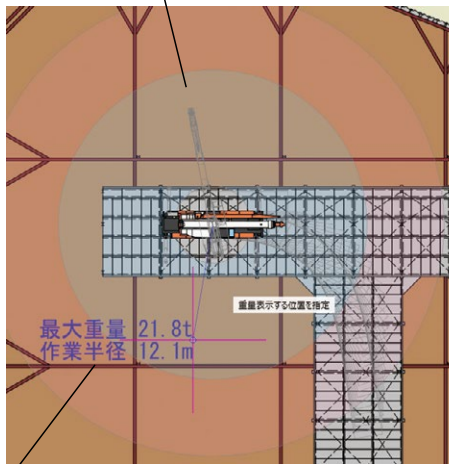
重機配置計画

施工現場に必要な重機・車両を多数搭載しており、工事現場での車両軌跡表示やクレーンなどの吊り重量半径の可視化が可能です。工事の進捗に合わせて時間軸で複数の位置・動作を設定し、安全性と効率性を3Dモデルで徹底確認できます。



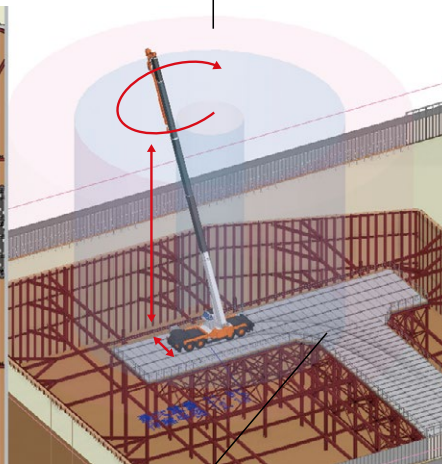
■クレーン・ショベル可動範囲

クレーン・ショベルのアームの可動領域を可動中心・範囲の設定により平面及び立体で確認でき、最も効率の良い配置位置を検査することができます。



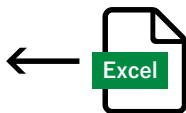
■3D可動シミュレーション

重機車両部品は可動情報を持ちアームやブームの伸縮状態を立体で確認することができます。



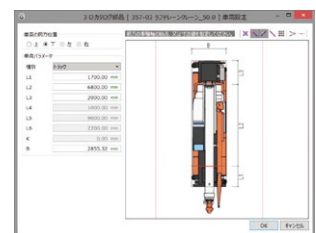
■クレーン吊り重量

定格総荷重表Excelデータ読み込みにより、マウス位置の吊り可能重量を表示します。また、希望吊り重量の設定によりその重量の吊れる範囲を色分けして表示することができます。



■車両軌跡

車両設定により車両軌跡を表示することができます。また、この軌跡をたどる車両アニメーションに対応します。



■建設機材部品

3Dカタログ.comに“建設関連”の選択カテゴリを設け、建設施工で使われる工事機材や重機・車両 約1000点を留意しました。建設機材の配置計画を立体で確認しながら検討するとともに工事関係者の情報共有を容易にします。

3Dカタログ.com



※CAD連携には別途3Dカタログ.comの有料会員契約が必要です。

GLOOBE WebViewer / GLOOBE VR

ブラウザ版BIMビューワー「GLOOBE WebViewer」

■いつでも、どこでも、誰とでも。BIMを持ち歩こう。

GLOOBE WebViewerが遂に登場しました。3Dモデルや図面をウェブブラウザで手軽に確認でき、直観的な操作画面が魅力の使いやすいBIMビューワーです。LINEやメールでのBIMモデル共有も簡単に。アカウント登録なしで誰でも利用可能です。移動時間でのモデル確認や現場指示、社内会議など様々なシーンで活躍します。

※データ出力には3Dカタログ.com有料会員契約が必要です。

GLOOBE WebViewer NEW



■シーンのワンタッチ切替



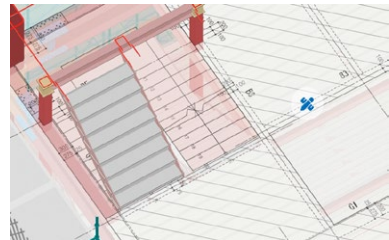
GLOOBEであらかじめシーン登録しておくことで、見たい場所・見せたい状態へ瞬時に切り替えることができます。

■ワンタッチ計測



測定したい場所を1回選択するだけで、各方向の寸法値を簡単に表示できます。任意の場所を2ヶ所選んで2点間の距離を計測することも可能です。

■3D+2D (図面重ね合わせ表示)



GLOOBEから出力した2D図面を3Dビューに重ねて表示します。図面に慣れていない方でもわかりやすく、寸法線や引き出し線の情報を便利にご活用いただけます。

■ウォークスルー



一人称モードに切り替えて、建物内を歩き回ることができます。簡単ジョイスティック操作で手軽に建物内を確認できます。

■属性情報の確認



オブジェクトを選択することで、名称やプロパティ情報を簡単に確認できます。必要な情報を迅速に取得できます。

■工程シミュレーション



GLOOBE Constructionで工程計画を出力している場合、画面下部に工程計画専用のメニューが表示されます。工事分類の切り替えや、日付を指定したモデルの進捗状況などの4D確認が行えます。

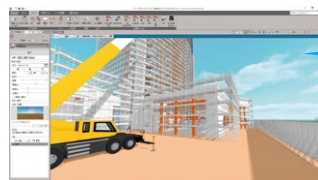
■GLOOBE WebViewer対応ブラウザ: Microsoft Edge・Google Chrome・Apple Safari・Mozilla Firefox (最新バージョンでの利用を推奨)
※サンプルサイトにてご利用のデバイスで表示可能かを、事前に確認してから運用をお勧めします。

バーチャル空間体感システム「GLOOBE VR」

■入って、歩いて、VR空間体感

GLOOBEで作成したモデルデータが、そのままバーチャルイメージとして視覚的に体感できます。関係者との打ち合わせから建物オーナーへのプレゼン、技術者教育など様々な活用が可能です。

※GLOOBE Architect・GLOOBE Construction両方でご利用いただけるプログラムです。別途ご契約が必要です。



GLOOBE
Architect / Construction

「VRデータ作成コマンド (GLOOBE標準機能)」から
VR専用ファイル
BIMモデルデータを変換

詳細はこちら▼



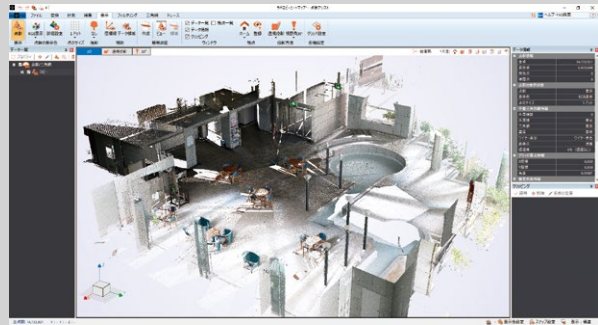
バーチャル空間体感システム
GLOOBE VR

推奨ヘッドマウントディスプレイ
HTC VIVE Focus 3 (HTC社製)



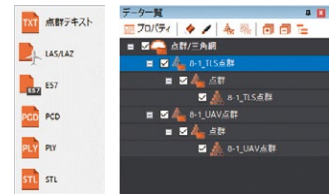
点群アシスト

複数の点群データや大容量の点群データを快適に取り扱え、豊富なフィルターによる点群データ加工や計測、高さチェック、差分解析などが可能です。GLOBE Architect / Constructionとシームレスに連携することで、様々なシーンに合わせた3D点群データとBIMモデルのハイブリッド活用が可能になります。



点群アシストで“できること”

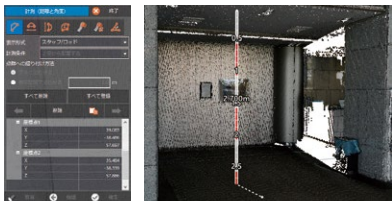
点群とは、コンピュータ上で扱える3次元座標を持った点の集まりで表されるデータです。1つ1つの点は、3次元空間における位置情報(X,Y,Z)と色情報を持っています。点群アシストでは、3DレーザースキャナーやiPhone/iPadのLiDAR計測の出力ファイルから取り込んだ3D点群データの加工・編集・合成などを行うことができます。視点をつなげた動画(mp4)の作成やビューアー出力で、点群データ共有も可能です。



様々な点群ファイル形式の読み込みに対応。複数ファイルの同時読み込みも可能。

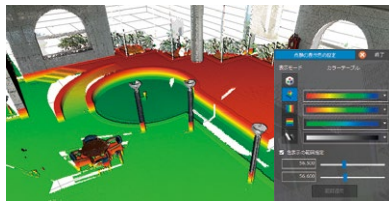
■計測

点群2点間の距離や、水平距離・高低差を計測できます。計測結果の保持や再利用も可能です。



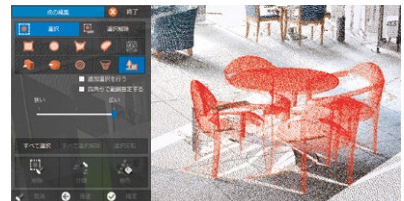
■色分け表示

高低差をヒートマップ表示で可視化し、土地や床が平坦であるかなどをチェックできます。



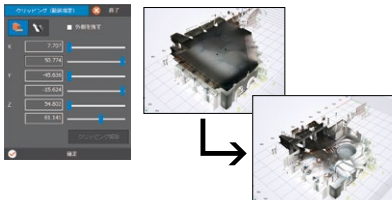
■点の編集

点の集合選択では、1クリックで“点の固まり”を容易に選択でき、選択した点を別点群として管理可能です。



■クリッピング

スライダーによる簡単操作で、点群の表示範囲を絞り込むことができます。クリップ状態の保持、再編集も可能です。



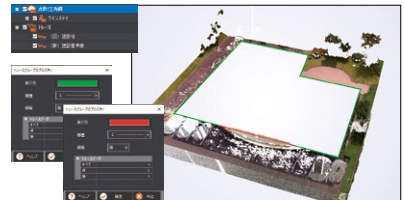
■フィルタリング

間引き、ノイズ、地表面抽出など、様々な抽出方法で扱いやすい点群データに整理します。



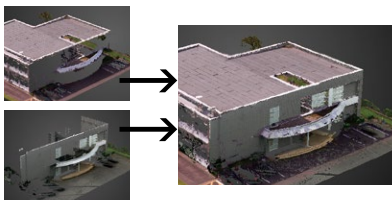
■トレース

GLOBE点群連携時にトレース線も一緒に連携し、GLOBEモデルとの点群位置合わせやオブジェクト入力の補助に利用できます。



■位置合わせ

地上レーザースキャナー計測とUAV計測の点群を位置合わせして結合し、欠測箇所を補間できます。



■差分解析

点群データと三角網データとの比較で、構造物の差分を色分け表示で可視化できます。



■点群データ共有

視点をつなげた動画(mp4)の作成やビューアー出力で、計測や差分解析結果を誰でも確認できるようになります。



GLOOBEと連携して“できること”

GLOOBE Architect / Constructionとシームレスに連携することで、新築や増改築など建築業務の様々なシーンに合わせた3D点群データとBIMモデルのハイブリッド活用が可能になります。



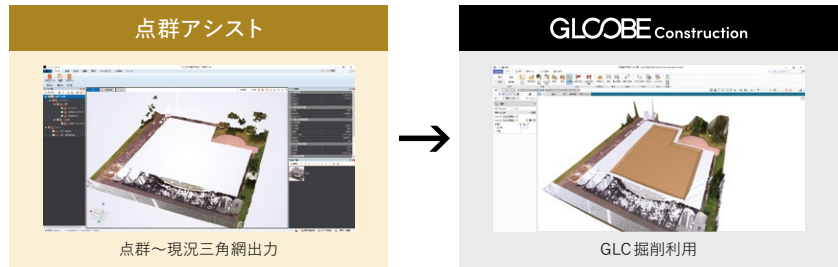
■ 竣工計画・施工計画

点群アシストで点群の確認・編集・支障物削除などを行い、GLOOBEに連携します。GLOOBE Architectの意匠モデルやGLOOBE Constructionの施工モデルと位置合わせして合成し、現況利用が可能です。また、GLOOBE Model Viewerに連携してプレゼンや合意形成にも活用できます。



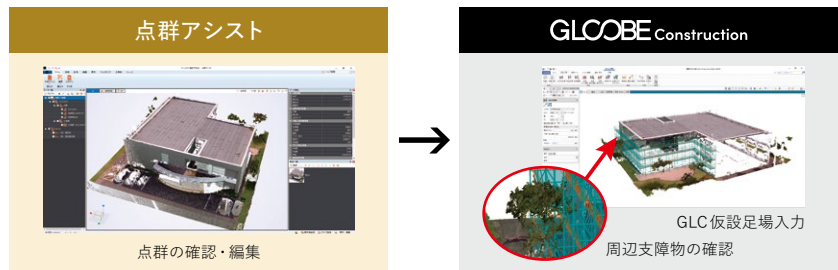
■ 土工掘削活用

点群アシストで不要データの削除を行い、GLOOBE現況三角網出力にて、GLOOBEに連携します。土工計画で現況地形として読み込むことで、掘削による正確な土量計算を行うことができます。



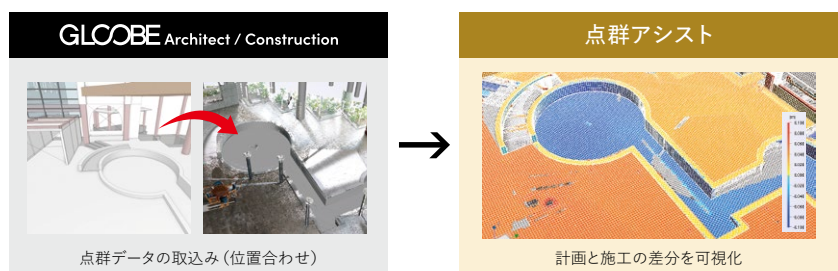
■ 仮設計画・揚重計画活用

点群アシストで点群の確認・編集などを行い、GLOOBEに連携します。仮設足場計画や重機配置計画において、周辺支障物の確認に使用できます。



■ 出来形チェック

施工の点群データにGLOOBEのモデルを重ね合わせて、差分を確認することができます。点群アシストの差分解析では、計画と施工の差分が色分け表示されるため、構造物が計画(設計)通りに施工されたか一目で確認できます。



J-BIMソリューションネットワーク

国土交通省ガイドライン 8つの業務区分(ステージ)

S0 (企画)

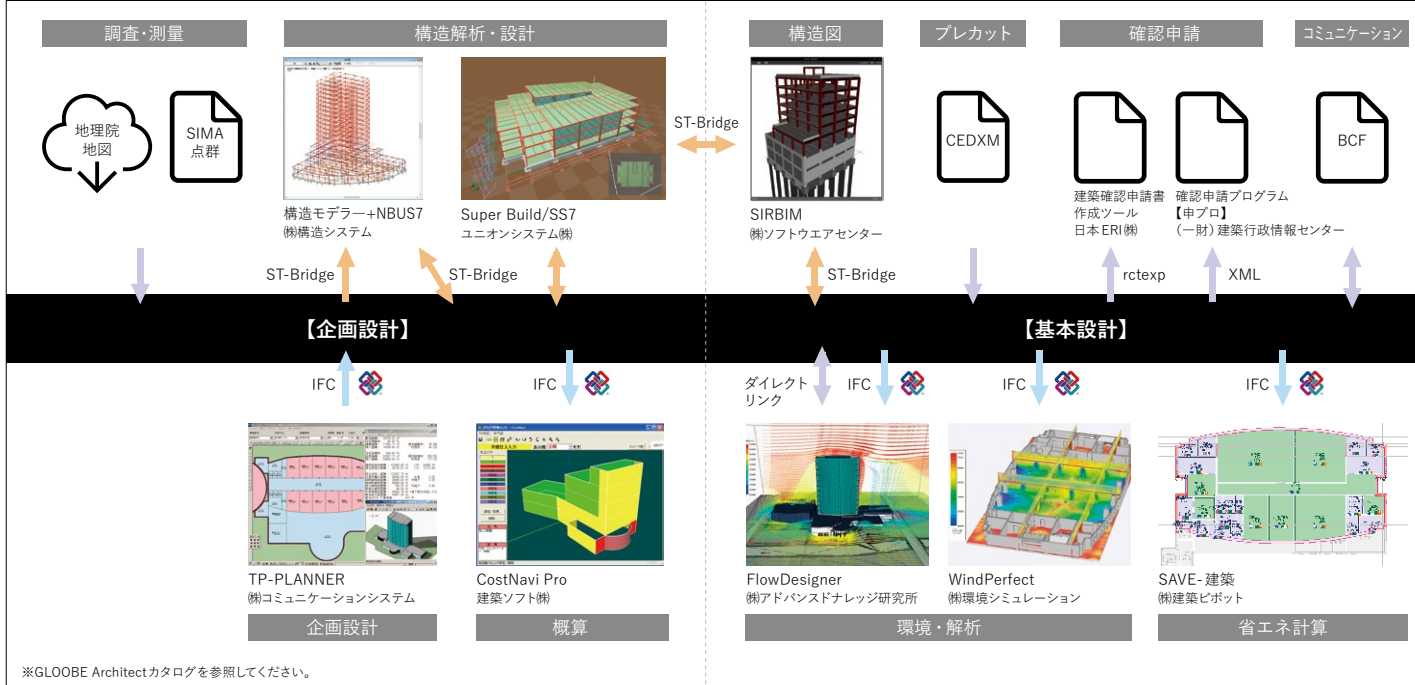
S1 (基本計画)

S2 (基本設計)

S3 (実施設計1)

【ビューワー】GLOOBE Model

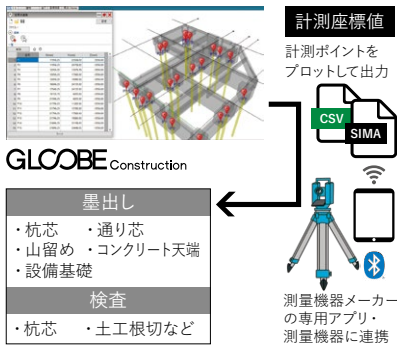
GLOOBE Architect



※GLOOBE Architectカタログを参照してください。

■ 測量機器との座標連携

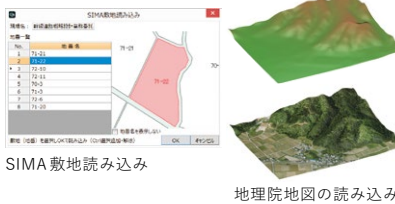
GLOOBE Constructionと測量機器との連携で杭出し、墨出し活用が可能です。



■ 点群・SIMA・地理院地図

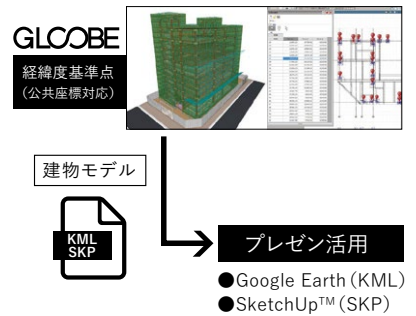
点群やSIMA、地理院地図*の読み込みで、リアルな景観を表現できます。周辺地形を考慮した様々な検討やプレゼンテーションが行えます。

※点群については、P15を参照してください。
※地理院地図とは、地形図、写真、標高、地形分類、災害情報など、国土地理院が発信するウェブ地図です。



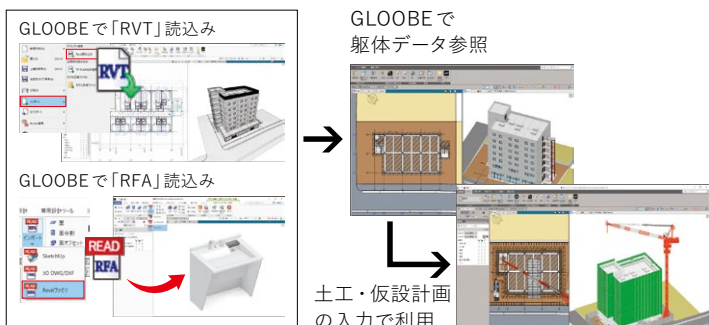
■ BIMデータの連携と利活用

公共座標やGoogle Earth連携で、測量機器連携・ICT施工・プレゼンなど幅広い活用シーンを実現しました。



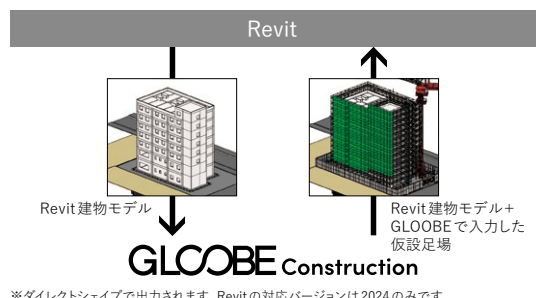
■ Revitファイル「RVT・RFA」読み込み

Revitの「RVT」ファイルを読み込んで土工・仮設計画の入力で利用したり、ファミリー「RFA」ファイルを読み込んで汎用オブジェクトとして利用するなど、連携により業務の効率化を実現します。



■ Revit出力 NEW

GLOOBEモデルをRevitモデルに変換するだけでなく、既存のRevitモデルにGLOOBEで入力した要素のみを追加することも可能です。これにより、Revitと直接データのやり取りが可能となり、変換によるデータ精度の低下を防ぐことができます。



※ダイレクトシェイプで出力されます。Revitの対応バージョンは2024のみです。

●その他連携データ：【2Dデータ】JWW・JWC・DWG・DXF・SXF

【3Dモデル】IFC2×3・IFC4・XVL・3DS・SKP・3DDXF・3DDWG・Collada・U3D・FBX・3DPDF・KML・KMZ

【3D形状データ】STL 【構造データ】ST-Bridge Ver.1.4,Ver.2.0

【敷地データ】SIMA・Google Earth Pro 32bit版・地理院タイル
【ICT施工】Land XML

【不動産管理】@Property (プロパティデータバンク社)

【データベース出力】ACCESS・EXCEL

【その他】PDF・XLS・拡張メタファイル(emf)・イメージファイル

S4 (実施設計2)

S5 (施工等)

S6 (引渡し)

S7 (維持管理・運用)

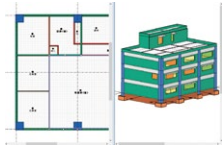
Viewer / GLOBE WebViewer

【クラウド】ATDrive (ARCHITREND Drive)

GLOBE Construction

BIM-FM

精積算

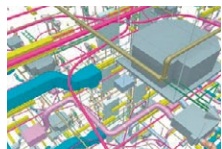


HEALIOS
日積サーベイ

ダイレクトリンク ↑ IFC

【実施設計】

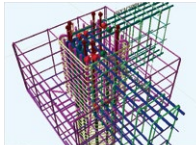
IFC ↓



CADWe'll Tfas / CADWe'll Linx
日積サーベイ

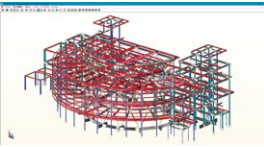
設備設計

鉄筋・鉄骨



現場ナビ 3D鉄筋
構造ソフト

ST-Bridge ↓



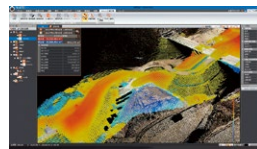
S/F REAL4
日積データロジック

ST-Bridge ↓ IFC

【施工】

IFC ↓

点群データ：txt・csv・fctxpc
TIN (現況三角網) データ：pce ↑



TREND-POINT
福井コンピュータ日積



TREND-COFE
福井コンピュータ日積

BIM/CIM 連携

ICT施工



LandXML ↑

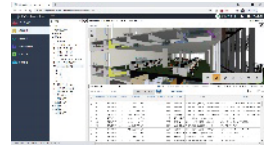
SIMA ↓ CSV



FIELD-TERRACE
福井コンピュータ日積

計測機器連携 墨出し・検査

施設台帳管理・中長期修繕計画



FM-Integration
日積FMシステム

MDB ↑ ビューワーデータ
fmvwr ↑

【FM】【維持管理】【修繕計画】

IFC ↓



@property
プロパティデータバンク日積

不動産管理

※GLOBE「点群アシスト」機能でも点群を読み込めます。

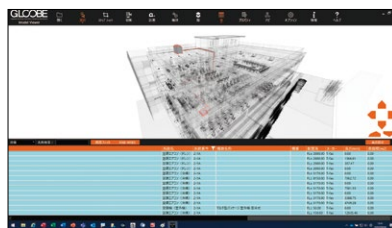
無料ビューワーでBIMモデルを共有

ビューワーアプリ 「GLOBE Model Viewer」

GLOBEで計画したBIMモデルを工事関係者や発注者と共有できる無償アプリです。BIMソフトをお持ちでない方も「GLOBE Model Viewer」を使って閲覧が可能です。



動画でチェック



▼WEBより無償でダウンロードできます。

GLOBE Model Viewer

検索



改ざん検知機能付き 電子黒板写真に対応



現場Plus

現場デジタル化ツール【現場プラス】

- 工程・進捗・検査
- 図面・写真・書類管理
- 現場コミュニケーション
- 施主コミュニケーション
- 労務・安全管理

現場Plusは、電話・FAX・書類など施工現場での従来型情報伝達を全てクラウド上に置き換え、チーム間の情報共有を迅速化・円滑化し、大幅な業務効率化を実現する現場デジタル化ツールです。



資機材搬入と揚重管理をサポート



DandALL

資機材搬入・揚重管理サービス【ダンドール】

- 車両搬入時刻・揚重機予約の登録・管理
- 利用時間、回数集計機能
- リアルタイム通知・コミュニケーション
- 帳票出力
- デジタルサインエッジ出力

DandALLは、建設現場のスケジュール管理をIT化し、資機材搬入と揚重(荷揚げ)管理が行えます。予約登録と予定共有・調整会議・サインエッジによる警備・作業員への共有まで、日々の作業をよりスムーズに、大幅な効率化で生産性向上、働き方改革を支援します。



建設業の思いを創る。

INNOVATION for ALL.

社会を支える建設業が、そこに従事するすべての人が、力強く未来へと歩んでいけるように。
福井コンピュータグループは、ICTの技術を活用して想像と革新を積み重ねることで、より豊かな未来の実現に貢献してまいります。



技術開発センタービル「ウィン・ラボラトリ」

GLOBE Construction (2024年7月最新版動作環境)

OS	Windows 11、Windows 10 (64bit) ※「GLOBE Construction」「点群アシスト」は64bit版プログラムのみとなります。32bit版OSでは動作しません。
CPU	Core i7以上 ※CPUは、intel社製に限りです。 ※「点群アシスト」はIntel社製 Celeronでは動作しません。
必要メモリ	8.0GB以上(推奨16.0GB以上)
必要HDD容量	3.0GB以上(推奨5.0GB以上) ※データの大きさや必要構成により異なります。 ※「点群アシスト」は100GB以上(推奨 500GB)、SSD推奨
必要解像度	1280×1024以上推奨 ※「点群アシスト」は1366×768以上(推奨 1920×1080)

VIDEO	DirectX 12.0 対応グラフィックカード ※オンボードグラフィックでは動作しません。 ※「点群アシスト」はOpenGL 3.3 以上(推奨 OpenGL 4.0)、nVIDIA社製推奨 (AMD社製など nVIDIA社製以外のVIDEOでは、描画が正常にされないなど一部動作に制限があります。)
VIDEOメモリ	1.0GB以上 ※大規模モデル、複雑なモデルを扱う場合は 2.0GB以上を推奨 (推奨グラフィックカード:nVIDIA社製 GeForce GTX 750シリーズ以上、Quadro P2000以上、AMD社製 RADEON RX 460シリーズ以上)
その他	一部の機能を利用するためには Microsoft Edge WebView2 ランタイムが必要です。 Officeドキュメントには、Microsoft Office2016以上が必要です。

※プログラムのインストール時にDVD-ROMドライブまたはネットワーク環境などのDVD-ROMを認識できる環境が必要です。
※プログラムのインストール先としてNASのご利用はできません。またデータを直接NASに保存することは推奨できません。
※データやLANプロトコト等のルーター越えでの運用はプログラム動作保証外です。
ルーター越えの運用とは、場所の離れた拠点(例えば支店や営業所)から本社に設置しているサーバにあるデータやLANプロトコトのライセンスを取得するケースとなります。
※ARMプロセッサのWindowsには対応しておりません。
※4K等の高解像度をご利用でディスプレイサイズが小さいと画面上のアイコン等が非常に小さくなり操作しづらい場合があります。ご利用の際はサイズの大きいディスプレイをお勧めします。
※動作環境は予告なく変更する場合があります。製品により動作環境が異なる場合があります。
※製品に関するお問合せは福井コンピュータグループ総合案内までお願いします。

スキルアップサービス

初めての方から、ワンステップ上の活用を目指す方に!

「オンライン教材」のご案内

パソコン、タブレット、スマートフォンから、
Webサイトにて365日いつでも視聴可能。
空いた時間に自分のペースで学習したい…
そんな方に最適なオンライン教材をご用意しています。

- GLOBE Construction 基本編
- GLOBE Construction 仮設・土工編
- GLOBE 点群アシスト編

※ご利用には、FCアカウントの登録、インターネット環境が必要です。
※詳細は総合価格表、ホームページをご参照ください。

オンライン教材 福井コンピュータ

<https://smart.fukuicompu.co.jp/architecture/>

「お客様サポートサイト」のご案内

お客様の「困った!」を解決します。

マニュアルや解説資料をはじめとしたサポートコンテンツを集約したお客様サポートサイトがスマホにも対応。さらに使いやすくなりリニューアルしました!



- 操作マニュアル
- インストール/認証・起動
- よくある質問・BEST FAQ
- 電話・リモートサポート
- プログラム更新
- オンライン教材
- GLOBEユーザー会

GLOBEをWEBで詳しくご紹介しています。

導入事例サイト
スタラボ



福井コンピュータアーキテクト スタラボ

GLOBE 製品ページ
【30日間無料体験版公開中】



GLOBE

公式 SNS はこちらから



フォロー・いいねをお願いします!



福井コンピュータアーキテクト株式会社

本社 / 〒910-0297 福井県坂井市丸岡町磯部福庄5-6

札幌・盛岡・仙台・水戸・宇都宮・高崎・新潟・長野・さいたま・千葉・東京・静岡・名古屋・岐阜・
福井・京都・大阪・神戸・岡山・高松・松山・広島・福岡・別府・宮崎・鹿児島・那覇

[福井コンピュータグループ総合案内]

0570-039-291

福井コンピュータアーキテクト



<https://archi.fukuicompu.co.jp>

※GLOBEは福井コンピュータホールディングス株式会社の登録商標です。その他記載されている社名、商品名は各社の商標または登録商標です。
※本カタログに掲載されているCG/バースサンプルは、一部DATA STATIONの添写データを使用しています。
※当社約款については、こちら (<https://hd.fukuicompu.co.jp/policy/index.html>) をご確認ください。



福井コンピュータグループでは、知的財産権の保護を目的とし、ACCS(一般社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会)による著作権保護・違法コピー撲滅のための活動に参加し、ソフトウェアの著作権問題に積極的に取り組んでおります。詳しくは福井コンピュータグループホームページ (<https://www.fukuicompu.co.jp>) またはACCSホームページ (<http://www2.accs.jp/or.jp/>) をご覧ください。